

国立情報学研究所の基盤サービス JAIR Cloud (共用リポジトリ)の例

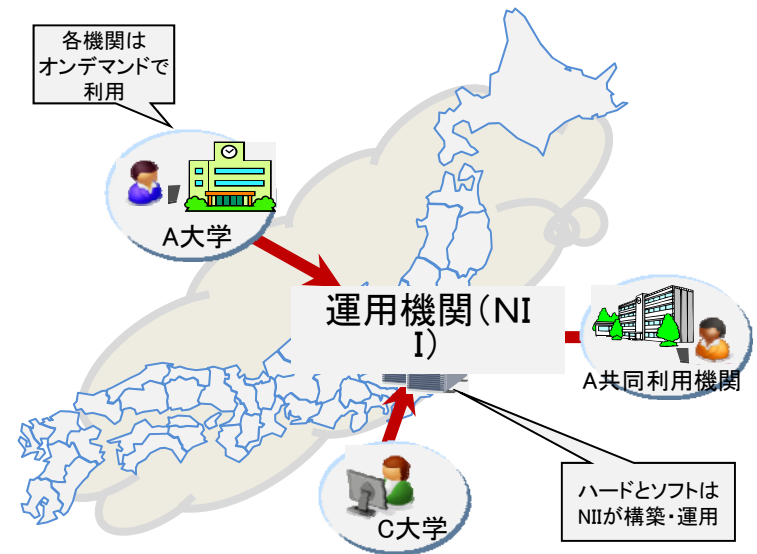
H23年度CSI報告交流会
Session 6「求められる基盤サービス」

平成24年6月13日(水)
国立情報学研究所 山地一禎

JAIRO Cloudとは

◆ 背景

- 大学等の教育研究成果を発信する機関リポジトリの構築を推進し、オープンアクセスの進展を図るため、独自の構築・運用が難しい機関に対し機関リポジトリのシステム環境を提供
- 多様な機能を実現するとともに収録規模の拡充、システムの分散化、コンテンツの長期保存を図る



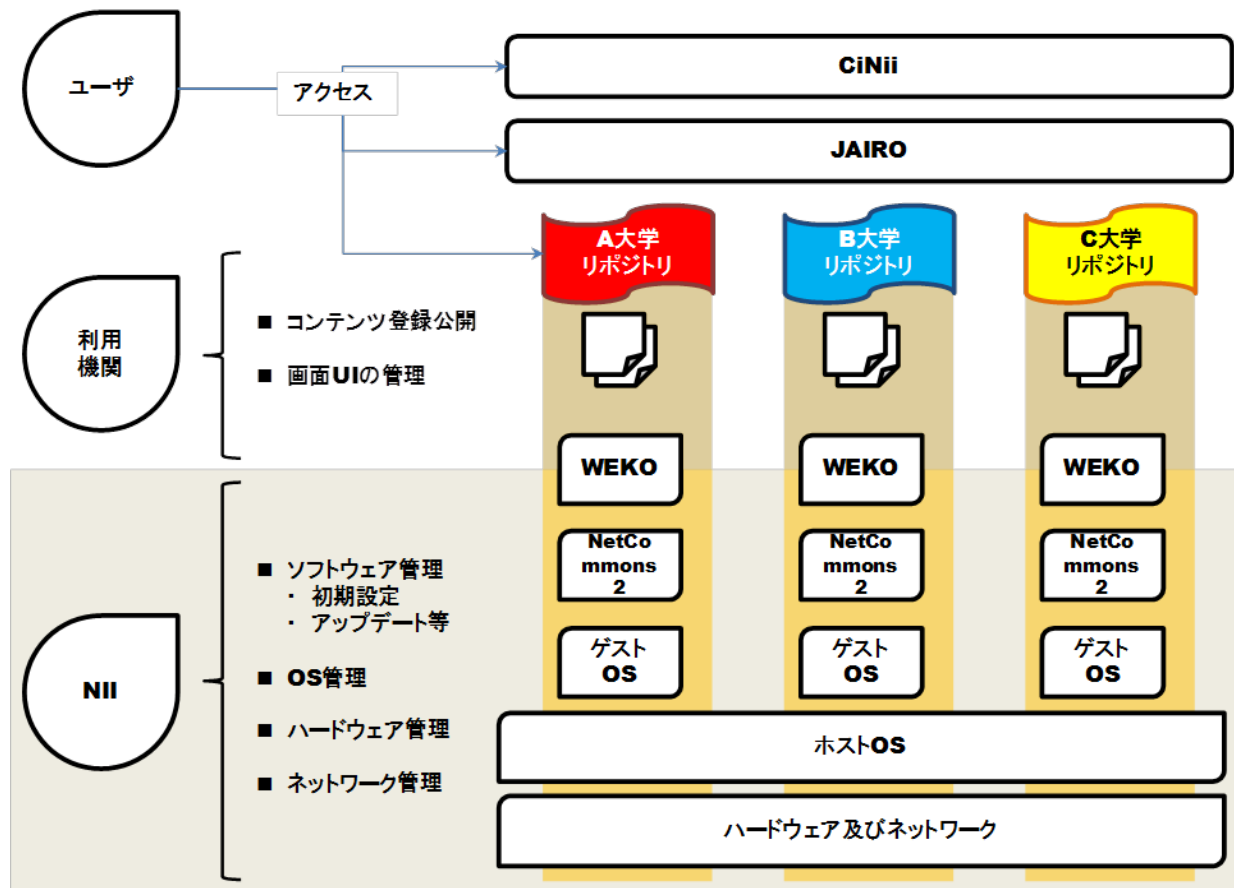
◆ 内容

- NIIが開発した機関リポジトリソフトウェア「WEKO(ウェコ)」をベースに、機関リポジトリのシステム環境を構築

◆ 目標

- 平成27年度までに200機関の新規構築を目標とする
- 既構築機関(約200機関)と併せて合計約400機関となり、博士後期課程を持つ大学はほぼカバー

サービス概要



- ・ 当面、利用料は無償
- ・ 対象は、新規構築機関
- ・ 正式運用開始（平成24年4月）

<https://community.repo.nii.ac.jp/>

申請状況

申請数等

申請数	内訳				公開機関数
	私立	公立	短期	その他	
70	56	5	5	4	14

※平成24年5月25日現在(申請は随時受付中)

昨年度作業

年月	事項
平成23年9月～10月	共用リポジトリ・サービス説明会の開催(全国6会場)
平成23年11月	参加機関の募集開始
平成24年1月	共用リポジトリ・システム講習会の開催(全国3会場)
平成24年4月～	正式サービス開始

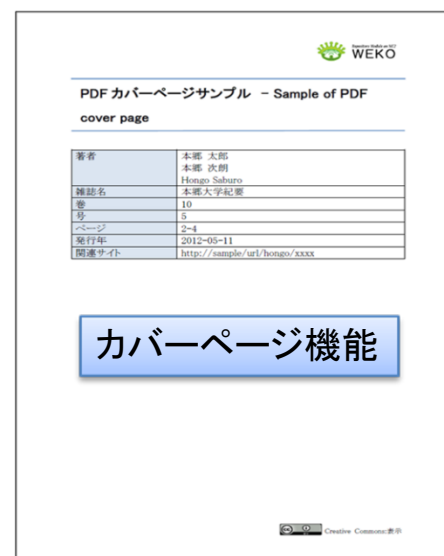
WEKOとは

- NIIが開発・公開中のCMSネットコモンズ2.0で動作するリポジトリシステム
- DSpace, EPrintsなどと等価な機能を装備



今年度の主な改修予定

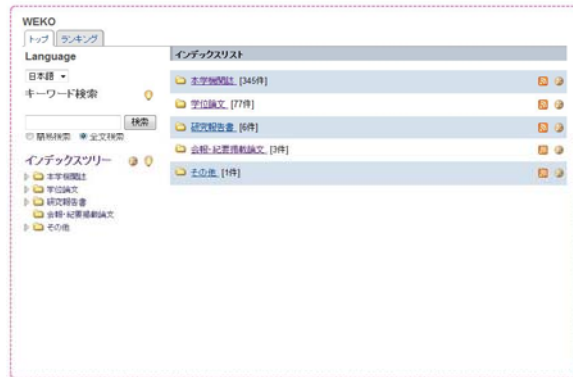
- ▶ ユーザーインターフェイス改善
 - ▶ 見た目が少しかっこよくなります
- ▶ GoogleScholar対応
 - ▶ NC固有の問題に対処
- ▶ ハーベスト機能
 - ▶ 地域リポジトリで利用可能
- ▶ 代理投稿機能
- ▶ 著者名典拠機能
- ▶ コンテンツ・ツリーの閲覧権限詳細化機能
- ▶ 統計通知機能
 - ▶ OAコンテンツ提供者への情報提供
 - ▶ 著者同定機能とも関連
- ▶ PDFカバー表示機能



JAIRO Cloudによる構築例

神戸松蔭女子学院大学 <<https://shoin.repo.nii.ac.jp/>>

Kobe Shoin Women's University

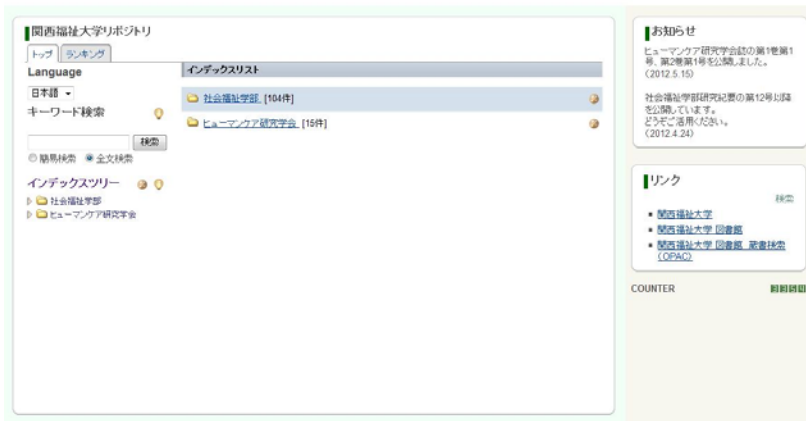


COPYRIGHT(C)2012 KOBE SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY



関西福祉大学 <<https://kusw.repo.nii.ac.jp/>>

ログイン



Powered by WEKO

聖心女子大学 <<https://u-sacred-heart.repo.nii.ac.jp/>>

聖心女子大学 学術リポジトリ

University of the Sacred Heart Academic Repository



Copyright © 2012 University of the Sacred Heart, Tokyo All Rights Reserved.

長野工業高等専門学校 <<https://nagano-nct.repo.nii.ac.jp/>>



今後の開発方針

- ▶ 現状でのリポジトリ機能としては、ほぼ充足



- ▶ 搭載コンテンツの多角的な表現
 - ▶ 機関リポジトリ内の業績を部局HPと連携
- ▶ 閲覧機能の改良
 - ▶ ダウンロードせずにそのまま閲覧できる機能
 - ▶ タブレット等への最適化
- ▶ マルチメディアコンテンツ機能
 - ▶ 画像、映像、音声を代表とするサプリメンタルデータへの対応

今後の日程

- ▶ 申請は随時受付中
 - ▶ 申込多数のため、システム環境引渡しまでにはお時間がかかります
- ▶ システム講習会（WEKOの使い方等）
 - ▶ 全国3会場で開催予定（対象：申請済機関）
 - ▶ 7月4日：国立情報学研究所
 - ▶ 8月3日：熊本学園
 - ▶ 9月7日：阪南大学
- ▶ 随時、WEKOの機能拡張
- ▶ 対象機関の範囲拡大について検討

会場への問いかけ

- ▶ 求めている基盤サービスとは何か。
- ▶ 標準化された統計データをどのように利活用するのか。
- ▶ 著作権処理の効率化をどのように実現するか。
- ▶ 著者・書誌同定により、何を実現したいか。
- ▶ 画像、映像、音声などのデータも扱うか。
- ▶ 業績データベースとの連携を拡大させないか。
- ▶ その他